

—CEATEC JAPAN 2014 電子情報通信学会 東京支部シンポジウム—

我が国においては、光アクセスネットワークやLTEに代表される高速ネットワークが広く普及し、世界トップクラスのブロードバンドインフラ環境が整っています。このような環境を生かし、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末を用いた様々なサービスが生み出され、今ではすっかりと生活に不可欠なインフラになったと言っても過言ではありません。また、最近ではヒトの持つ端末だけではなく、様々なものにまで無線通信機能が搭載され、ヒトのみならず、モノまでもがネットワーク化され、それがインターネットの世界へつながり、クラウドサービスと融合していく「Internet of Thing 時代」の到来が本格化しようとしています。そして、モバイル端末や各種センサを通じて収集された膨大なデータを活用して新たな付加価値を提供するビッグデータ関連サービスの将来性について関心が高まっています。

一方、近年 ICT 技術の観点では、ネットワークとデバイスそれぞれにおいて、大きなイノベーションが話題となっています。一つは、第5世代のモバイルネットワーク技術です。従来技術と比べて、更なる高速化のみならず、多様な無線インタフェースを収容できることが特徴とされています。もう一つは、ウェアラブル端末技術です。「持つ」から「身に付ける」ことによって、ユーザーにとって意識することなく常時無線ネットワークを介して様々なサービスに接することが可能となります。

本シンポジウムでは、ネットワーク技術やデバイス技術の最先端の研究開発動向を踏まえつつ、これら ICT 技術のイノベーションを基に、異なる技術分野の融合や、異業種間の連携などによって、いかに様々な新しいサービスを生み出し、産業や社会の発展に貢献し得るかといった課題について議論を行います。

第1部では、まず、進化を続ける無線ネットワーク技術やデバイス技術がもたらす社会や産業の変革について御講演を頂きます。次に、今後成長が期待されるウェアラブルデバイス関連のマーケット動向、続いて社会を支える最新の無線ネットワーク技術、そして、モバイル技術をビジネスに活用する観点から、各分野にて第一線で御活躍の方々をお招きし、御講演頂きます。

また、第2部では、最先端の ICT 技術を活用した国内産業の発展と地域社会の活性化に関して、また社会や産業の変革に資するサービス創出を加速するためには、我々は今何をしなければならないのか？ また、更なる発展が期待されるブロードバンドモバイルネットワークやデバイス、サービスに関するイノベーションの可能性について、パネルディスカッションを行います。

開催日：10月9日（木）10：00～13：00

会場：国際会議場 3F 303号室

テーマ：第5世代モバイル通信とウェアラブルデバイスが拓く新しい社会への期待とそれを支える最新技術動向

第1部

- 10：00～10：05 開会挨拶
西原基夫氏 東京支部長、NEC クラウドシステム研究所所長
- 10：05～10：35 Internet of Everything がもたらすしなやかな知識社会の到来
上條 健氏 沖電気工業株式会社研究開発センター理事
- 10：35～11：05 第5世代に向けた無線アクセスネットワーク技術の最新動向
奥村幸彦氏 (株)NTT ドコモ先進技術研究所グループリーダー主幹研究員
- 11：05～11：35 ウェアラブルサービスの市場動向
池田英信氏 (株)テクノ・システム・リサーチマーケティングディレクター
- 11：35～12：05 最新モバイルソリューションの活用事例
高橋友憲氏 (株)チェンジマネージャ
- 12：05～12：15 休憩

第2部

- 12：15～12：55 パネル討論
来るべきIoT時代の中で、我々は社会や産業に変革を促すために最新のICTを活用して何をすべきなのか？
座長
吉本直人氏（千歳科学技術大学教授）
パネリスト
上條 健氏（沖電気工業株式会社研究開発センター理事）
奥村幸彦氏（(株)NTT ドコモ先進技術研究所グループリーダー主幹研究員）
池田英信氏（(株)テクノ・システム・リサーチマーケティングディレクター）
高橋友憲氏（(株)チェンジマネージャ）
- 12：55～13：00 閉会挨拶
西原基夫氏 東京支部長、NEC クラウドシステム研究所所長